

第4回行財政改革推進会議 概要

- 日時 平成13年11月13日(火) 11:00~12:00
- 場所 市役所11階第1委員会室
- 出席者 委員：伊藤、岩崎、大矢知、加藤、後藤、藤田、丸山、渡辺
(敬称略)

1. 開会挨拶 渡辺会長

2. 市長コメント 委員の皆様には、地方分権による市町村合併、交付税問題に取り組むためにも、行各項目に対し、新しい展開への切り口を提示していただきたい。特に重点項目(幼保問題・希望の家、寿楽園・地区市民センター)について、研究会を設けて行なうことになったのでよろしくお願ひいたしたい。

法人税の減収、交付税交付団体への移行等財政面でも厳しい状況の中で、高コスト体質からの脱却を図り、行政のありかたを根本的に見直すための体質改善が迫られている。

3. 意見交換 委員より、

- ・ 幼保問題・希望の家、寿楽園・地区市民センターの3つの研究項目等今後の取り組みについて市長への質疑。

(市長回答)

10年、20年先をみたまちづくりが必要。

- 地区市民センターについて
住民自治を中心に運営を考えていく。
- 幼保について
サービスを低下することなく、公立の統廃合、民営化を行なっていく。民間では受け手がないサービスを公共が担うことや市民サービス維持は前提であるが、公立においてもその保育内容の個性化、差別化が必要である。公私の役割の明確化やサービス基準の設定が必要である。
- 希望の家について
他の自治体において、民間の福祉法人が運営している実態を踏まえ、コスト論、運営母体の適正化、養育母体の適正化を考慮して、民営化を図りたい。
- 寿楽園について
介護保険の導入もふくめ、国の施策にあわせて検討願ひたい。
- 大型プロジェクト
中心市街地再開発構想、JR連続立体化、新保々工業団地

等は事業の見直しを図っている。

- 教育改革

ソフト（英語教育、コンピュータ教育等）の充実を図る。

今後は産業構造の転換、教育改革が図られ都市間競争に立ち向かえる体制作りを行なっていく。

4．次回開催時日時

平成 14 年 1 月 25 日（金） 午後 1 時より

5．閉会